

季刊ブックレビュー

みどりの翼

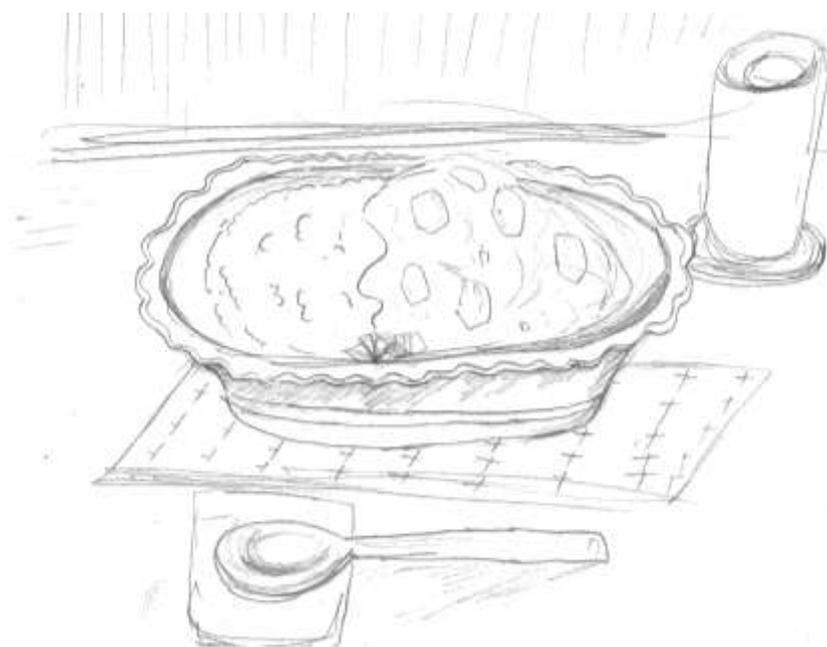
特集

なのびィ



昔

平成 30 年 10 月 Vol. 64



「昔とおなじ味」

◆ とびっく ◆

Read me! 「特集 昔」

新着図書

コラム 「『昔々…』の魅力」

イラスト：ぷぷこさん

発行：田原市中央図書館
(TEL0531-23-4946)

『昔々』が舞台の物語って

なんでステキなんだろう？

大河や時代小説は、日本でも海外でも人気。
今月号のテーマにちなんで、ちょっと探ってみましょう。
はたして『昔々』に秘められた 魅力の正体とは・・・？



引用：「みんなの映画100選」
鍵和田啓介 // 著

“現在”って不満なものなんだ。
それが人生だから

いきなり核心？を突いてきました。
映画『ミッドナイト・イン・パリ』より、ノスタルジック
趣味の主人公が会った、古い世界への憧れの真理。

背景となる文化がステキ？
衣装 お屋敷 食べもの etc…

古典や歴史の授業中、教科書より
便覧みるのが好きだったひと
いるでしょう？



歴史の授業の成果がでた？

真面目に聞いてばかりでもなかったけど、それでも小学校から
やってきた勉強のおかげで、文章に書かれている以上の世界を
味わっているのかも。これはちょっと嬉しいね。

スペースがなくなってきたところで、あらたな疑問が生まれました。
つまり、私たちが生きてるこの“現在”も、いつか誰かにとっての
ステキな『昔々』になるのかしら・・・？

… 特集 昔 …

今回のテーマは「昔」です。

和洋を問わず、昔に関する本を集めてみました。

温故知新という言葉もありますが、
歴史を知ることによって新しい発見もあるかも？
昔を知る旅に出かけてみよう！



全ページ挿絵あり…だと…？

「絵物語 古事記」

富安陽子 // 文 偕成社 2017年 913/ト ティーンズ



古事記って名前は知ってるけど読んだことない。
難しそう(*_*)って思ってる方いませんか？「ヤマタノ
オロチ」や「いなばの白うさぎ」など、なじみがある
お話から聞いた事ないお話まで、とっても読みやすい
文章で書いてあって、読みだすととまらない！

人間味あふれる神様がいっぱい登場して、こんな人
いるいる！ってなっちゃいます。

(°Д°) <呪呪呪呪呪呪呪呪

「呪」

小泉八雲ほか // 著 汐文社 2017年 913/ブ ティーンズ



こちらの「文豪ノ怪談 シュニア・セレクション」シ
リーズは、誰もが知っている文豪たちが書いた怪談を
集めたアンソロジーです。読みやすい長さのお話がた
くさん載っています。しかも、とっっても丁寧な注
釈がついているので辞書いらず！

今回は「呪い」をテーマにしたお話が集められてい
ます。読んでるとゾクゾクしますよ…。怖い話がす
きな方は是非読んでみてね。

中華王朝を舞台にしたファンタジー

「彩雲国物語 はじまりの風は紅く」

雪乃紗衣 // 著 角川書店 2003年 913.6/ユキ ティーンズ



家の格は高いけど、実は超ピンボウな紅家の一人娘秀麗。お給料に目がくらんで飛び込んだのは、即位間もないのに仕事ができないダメ王様と名高い王の後宮。仮の妃という名目で、教育係として日々を過ごす秀麗のもとに王本人が現れ…。番外編合わせて、全22巻で読みごたえ十分！秋の読書にいかがですか？

流行と個性のはざまで

「なぜカツラは大きくなったのか？ 髪型の歴史えほん」

キャスリーン・クルル // 文 ピーター・マローン // 絵 あすなろ書房 2012年 383/ク ティーンズ



人間の歴史の中で、髪型もさまざまな変化をしてきた。5000年前、エジプトで誕生した世界初のカツラは虫問題(!)を解決するのに役立ったらしい。2400年前、最古のハゲ治療薬はヤギの尿だった。さまざまな流行や文化に驚かされること必至。でも、どの地域でも、どの時代でも、現代にいたるまで一貫しているのは、美しく見せたいという気持ちなんだよね。

キラキラな仏像をひもとく

「阿修羅のジュエリー」

鶴岡真弓 // 著 理論社 2009年 757/ツ ティーンズ



阿修羅像を知っていますか？三対の腕と三つの顔、少年のような端正な顔が人気の仏像です。本物は約1300年前につくられたため色あせて地味にみえるかもしれませんが、復元された阿修羅像はとても鮮やかで、朱色の肌にきらびやかなアクセサリーを身にまとっていることに驚きます。

このキラキラにはどんな願い、意味が込められているのでしょうか？

ドキッとするほど、いいセリフ・・・

「みんなの映画100選 あのシーン あのセリフ」

鍵和田啓介 // 文 オークラ出版 2016年 778.2/カ ティーンズ



1980年代からここ2、3年に公開された映画の名セリフを、あらすじとイラストとともに紹介しています。まずシーンのチョイスが本当に良い。「このシーンを選んでくれてありがとう！」と言いたいくらい。あらすじの説明も分かりやすく、観たことの無い映画でも、そのセリフがストーリーのなかでどんな重要な意味を持つのかが理解できます。独特のゆる～いタッチながら特徴をとらえたイラストも素敵です。

行ったことない場所のことって、今でも99%想像かも…

「地球のかたちを哲学する」

ギヨーム・デュブラ // 文・絵 西村書店 2010年 450/デ ティーンズ



地球は丸い。誰もが知ってる事実。沢山の学者たちが調べて発見して地球の正体が常識になったけど、この本に載っているのはそうなる前の大昔、行ったことのない場所は想像するしかなかった頃の地球の姿。年代や地域によってその形が大きく違うのが見所です。下が不安定なデザインがいくつもあるけど、地震が多かったのかな？とか想像をふくらませたり…哲学。

あの偉人だって、昔は若かった。

「あまねく神竜住まう国」

荻原規子 // 著 徳間書店 2015年 913/オ ティーンズ



源頼朝といえば、鎌倉幕府をひらき武士の世の始まりとなった武将として有名ですよね。そんな頼朝が10代の若かりし頃を描いたファンタジー小説。

平氏に背いた罰として、伊豆に幽閉されたうえに命まで狙われる頼朝。そんな彼の元を訪れた謎の人物をきっかけに頼朝の運命が回り出す。生きる希望を失い弱々しかった頼朝が、たくましく成長する姿に注目。

「もしも」のオンパレード・・・江戸と現代の文化が交錯する！

「江戸時代の暮らし方」

小沢詠美子 // 著 実業之日本社 2013年 382/オ ティーンズ'



江戸時代の生活や文化を紹介している本なのですが、紹介イラストのあちこちに…現代人が混ざっているではないか…。(・_・)

もし現代の消防車があれば、火事の多かった江戸時代で大活躍したのではないか…のような感じで、現代と江戸時代を比較しながら楽しめるので分かりやすいし、なんだかワクワクしてしまいます。

“少女”ではないぜ。

「時をかける眼鏡 医学生と、王の死の謎」

榎野道流 // 著 集英社 2015年 913.6/フシ ティーンズ'



医学生の主人公が、過去の世界にタイムスリップして、法医学の知識で活躍するお話です。著者は元監察医だそうですよ。解剖などの描写が細かく専門的なのも納得できる…。シリーズものなので、これから主人公がどうなっていくのかとても気になります。そもそも…主人公はちゃんと現代に帰れるのか…？

が 効 効 ((((:O ㄩ O:))) が 効 効

☆「昔」なDVD・CD

DVD「アバウト・タイム 愛おしい時間について」 2013年 C42/ア 中央

戻れない昔を大切な宝物にする方法、毎日をかけがえのない一日にする秘訣を、タイムトラベルの力を持つ青年チームが見つけます。それがね、誰にでもできる方法なんですよ。

CD「時そば・まんじゅうこわい 子ども落語集2」 2009年 308/オ 中央

落語って古臭くてつまらない？そんなのモッタイナイ！落語を通して、江戸時代に暮らす庶民の生活や、江戸っ子言葉を身近に感じてみよう。

★★DVD・CDは人気の資料です。貸出中の場合は、予約をしてね！

📖他にもこんな本あります📖

○「なぜねこは幸せに見えるの？」

左近司祥子 // 著 講談社 2012年 104/サ ティーンズ

○「考古学がよくわかる事典」

國學院大學考古学研究室 // 編 PHP研究所 2010年 202/コ ティーンズ

○「ゼロからやりなおし！日本史見るだけノート」

小和田哲男 // 監修 宝島社 2016年 210.1/セ` ティーンズ

○「フランスの12の怖い昔話」

大澤千加 // 再話 長崎出版 2012年 388/オ ティーンズ

○「地球と人類の46億年史」

土屋健 // 著 宮崎正勝 // 著 洋泉社 2017年 450/ツ ティーンズ

○「紫の結び 一」

紫式部 // 原作 荻原規子 // 訳 理論社 2013年 913.36/ムラ ティーンズ

○「月の影 影の海」上・下

小野不由美 // 著 新潮社 2012年 913.6/オノ ティーンズ

○「絵巻で見る・読む 徒然草」

吉田兼好 // 著ほか 朝日新聞出版 2016年 914.45/ヨシ ティーンズ

○「紅玉は終わりにして始まり」

ケルスティン・ギア // 著 東京創元社 2015年 943.7/ギア ティーンズ

○「ジキル博士とハイド氏」

ロバート・ルイス・スティーヴンソン // 原作ほか 小峰書店 2010年 E/ド` ティーンズ

予告：次号の特集は「Oneあっぷ」です。

お楽しみに♪

☆新着図書・この本読んで！☆

ながめるだけでも楽しいけれど…！

「世界一楽しい遊べる鉱物図鑑」

さとうかよこ // 著 東京書店 2016年 459/サ ティーンズ



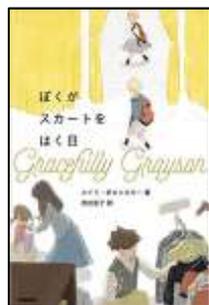
鉱物とは、長い年月をかけて、地球のマグマから生まれた石のことです。人の手で磨かれなくても、とても美しい結晶になったりします。ながめているだけでもうっとりの楽しい本書ですが、比較的手に入りやすい鉱物を使って、水に浸したり！焼いたり！！再結晶化してみたり！！といういろいろな実験方法も紹介しています。

簡単そうなものもあるのでチャレンジしてみては？

ほくは、女の子だ！

「ほくがスカートをはく日」

エイミ・ポロンスキー // 著 学研プラス 2018年 933/ホ' ティーンズ



12歳のグレイソンには誰にも言えない秘密があった。ノートにこっそりする秘密のラクガキ。△と○で女の子を描くのだ。グレイソンは、身体は男の子だけど、心は女の子。誰にも言えず、もどかしい日々を過ごしていた。ある日、学校で行う劇の主役、女神役のオーディションに参加する。

「もっと自由に、自分らしく生きたい！」グレイソンの熱い想いに胸をうたれます。

皆さんは給食、好きですか？

「給食アンサンブル」

如月かずさ // 著 光村図書出版 2018年 913/キ ティーンズ



「給食で一番好きなメニューは『揚げパン』です！」…と私が言うと、他のスタッフからは「給食で出たことがない。」という反応。田原の給食では出ないんですかね…。てっきり「私も揚げパン好き！」という反応が返ってくると思っていたので、ちょっと寂しくなりました。(´・ω・`)

6人の給食にまつわるエピソード、ご賞味あれ。

